

「安平町復興まちづくり計画」令和元～3年度 主な事業

基本方針1 住まいと暮らしの再建

① 被災者の住まいの確保

- 被災者の住み替え支援
[地域優良賃貸住宅建設事業]
(追分地区)



[大規模盛土造成地滑動崩落防止工事] (早来北進地区)



[民間賃貸共同住宅建設等支援事業]
子育て世代・ファミリー世代の住まい確保に向けて
建設する事業者を募集・支援

② 被災者の生活再建支援

- 被災墓地等の復旧支援
[共同墓建設事業] (追分・早来)



(町内2地区に各1基を整備)

③ 保健・医療・福祉の充実

- 特別養護老人ホームの
移転改築に関する支援



(追分陽光苑)

④ 子育て教育環境の 確保・充実

- 早来中学校の再建など学校
教育施設の復旧
[小中一体型の学校整備]



(実施設計イメージ図)

基本方針2 災害に強いまち・ひとづくり

① 地域コミュニティの 維持強化・地域防災力の向上

- 自主防災組織の充実・強化などによる防災意識の醸成
[町内全域での防災訓練] [小学生向け防災キャンプ]



(R1.9.6 防災訓練(シェイクアウト))



(R1.7.26 遠浅地区)

③ 公共インフラや公共施設の復旧・機能強化

- 公共インフラの早期復旧・機能強化
[町道・橋梁・河川災害復旧工事] (北進緑丘線)



② 防災・危機管理体制の強化と再構築

- 災害時に備えた各種企業との連携強化
[各種企業等との災害時の協定締結の推進]



(R2.9.25
株式会社
日産自動車等)

- 災害時における情報伝達手段の充実・強化
[地域情報通信基盤整備事業] 光回線整備

- 公共施設の早期復旧・機能強化
[柏が丘公園整備事業]



基本方針3 産業と経済の復興

① 農林業の復興

- 被災した農地・農業施設の復旧・機能強化への支援
[農地災害復旧事業] (早来瑞穂地区)



② 商業の復興

- 被災した事業者の事業再開支援
[仮設店舗の整備] (早来地区3軒)
- 新規創業支援等による賑わい創出
[仮設住宅として使用したトレーラー
ハウス等の活用]



(サテライト
オフィスとして
早来地区に
1軒整備)

④ 観光の振興

- 道の駅あびら D51 ステーションを核とした
観光の振興・交流人口や関係人口の拡大
[道の駅プロモーション戦略事業]



(H31.4.19 道の駅開業セレモニー)



(R4.5.19 来場者20万人達成)



- 回遊・交流事業による町内全域への波及促進
[商店街買遊(回遊)事業(商品券配布)]

基本方針4 未来へつながる復興

① 安心して暮らすことができる環境づくり

- 町民のまちづくり活動の促進による地域コミュニティの活性化
- 魅力的な子育て・教育環境づくりの推進



遊育推進事業 学びサポート事業 町民チャレンジ応援事業
(「日本で一番世界に近いまちプロジェクト」として3事業を連携させて展開)

② 未来へつながる新たな交流と担い手育成

- 災害時のボランティア等との
連携による取組みの推進
[(一社)安平町復興ボランティア
センターとの連携による取組み]
- 「地域おこし企業人」や
「地域おこし協力隊」など
幅広い人材との連携
[地域おこし企業人交流プログラム]



(活動拠点「ENTRANCE」)



(地域おこし企業人によるスマホ教室)

- [あびら版町民チャレンジ応援事業
(クラウドファンディング事業)]



(追分イーグルス室内練習場)

③ 町の魅力発信の強化 (プロモーション)

- 震災の記憶を後世に伝える
取組みの推進
[デジタルアーカイブサイトの充実]



[復興記録誌作成事業]

被災者の住み替えの状況

【応急仮設住宅等からの住み替え状況】

- 応急仮設住宅等に居住の方へは、職員による個別の聞き取りを重ねるなど、円滑な住み替えに向けて取り組み、全ての世帯で供与期限までに住み替えが完了
- 応急仮設住宅（建設型）については、追分・早来の両地区ともに解体工事が終了

	最大		完了 (R2. 12. 31 時点)	
	世帯数	人数	世帯数	人数
応急仮設住宅	29	62	0	0
(うち追分地区)	12	26	0	0
(うち早来地区)	17	36	0	0
トレーラーハウス	7	19	0	0
モバイルハウス	8	21	0	0
みなし仮設住宅	44	86	0	0
(うち町内)	16	32	0	0
(うち町外)	28	54	0	0
公営住宅（一時使用）	47	77	0	0
福祉仮設住宅	36	36	0	0
合計	171	301	0	0

【住み替え先住宅等の整備など】

○ 地域優良賃貸住宅の建設

- ・ 所得要件により公営住宅へ入居できない方へ向けて町で整備する住宅
- ・ 3地区（追分地区・早来地区・遠浅地区）各1棟2戸計3棟6戸を整備
- ・ 令和2年10月から順次入居



地域優良賃貸住宅（追分地区）



ペット飼育世帯向け住宅（早来地区）

○ ペット飼育世帯向け住宅の改修

- ・ 応急仮設住宅等でペットを飼育している世帯に向けて、町が所有する職員住宅などを改修して提供する住宅（13戸を改修）
- ・ 令和2年10月から順次入居



追分陽光苑

○ 福祉施設の整備（追分陽光苑）

- ・ 被災を受けた特別養護老人ホームの移転改築
- ・ 令和2年12月に完成。12月23日に福祉仮設住宅から転居。

復旧・復興事業の状況

【復旧事業の進捗状況】

○ 復旧工事は令和2年度（令和3年3月）に完了

(R3. 3. 31 時点)

区分	事業数	発注		完了		完了年月
		事業数	発注率	事業数	完成率	
河川	10	10	100.0%	10	100.0%	R3. 3
道路・橋梁	43	43	100.0%	43	100.0%	R3. 1
下水道	10	10	100.0%	10	100.0%	R2. 12
公園	6	6	100.0%	6	100.0%	R2. 4
農地	4	4	100.0%	4	100.0%	R2. 6
農業用施設	8	8	100.0%	8	100.0%	R3. 3

【今後予定している主な復興関連事業】

小学校・中学校の一体型学校	防災支援施設（防災コミュニティ施設） 避難所の機能強化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 早来中学校の再建に向けて、老朽化が著しい早来小学校との一体型の学校整備 ○ 若年層や子育て世代の関心を高めることで人口確保対策につなげる復興のシンボルとして進める 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の避難所、防災備蓄品の保管庫、ボランティアや自衛隊などの災害支援活動の拠点整備 ○ 主要避難所となる公民館の防災機能・避難所機能の強化 
防災倉庫	避難所非常用電源対策事業 避難所の機能強化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内に点在している保管庫機能を集約。災害時対応（炊き出し、大型車両の搬出入・物資関連）を想定した機能整備を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 震災時に避難所として利用した追分公民館の非常用電源設備の整備・機能強化 